

JARL

香川クラブ報

No. 468 令和8年8月15日



JA5YDE

J A R L 第 15 回定時社員総会

J H 5 L Y W

6 月 21 日(日)【JARL 第 15 回定時社員総会】が昨年と同じ「ステーションコンファレンス万世橋」において開催されました。



今年は理事・社員等選挙の年であり、投票が電子投票のみとされ物議をかもしました。

前回総会第 2 号議案で可決された「社員総会のデジタル化のための定款改正」によるもので、総会の Web 配信など随所でデジタル化が進められていました。

また、JARL に多大な問題を残し退いた前会長が、今回も出馬して多数の票を獲得し当選すると言ったこともあり、前途多難な総会を予感しつつ参加してきました。

総会議事録については、皆さん JARL Web 等すでにご存じのことと存じますが、総会に先立ち総会成立が

宣言され、議長団はじめ議事進行に関する人事が提示されました。

その中で、今総会の議事録署名人の一人として私が選任されました。事前に依頼がありましたので、今までの総会にも増して気を入れて議事進行に臨みました。

各々紹介の後、議長団から議事進行や議題に対する質疑の方法、採決の方法などについて、かなり深く掘り下げた注意とお願いがあり、いよいよ議題に移りました。

第 1 号議案「令和 7 年度事業報告」

提案説明の後、質疑に移り審議されました。

いつもの通り、赤字解消に向けいろいろ質問がありましたが、どれも建設的意見というより執行部の足を引っ張る内容が目立ちました。

採決については挙手による方法が取られ、圧倒的多数で**可決**されました。



第 2 号議案「定款及び規則の改正」

社員及び地方本部役員の任期の始期を選挙のあった年に開催される社員総会前

にするための定款及び規則に一部改正案

前回総会で提案されたことに伴う改正案で、社員等の任期が総会から次期総会まででは、次年度の予算など重要議題に対して社員を辞した者が決定し、新しく選挙で選ばれた社員等が審議に加わることはできず、実態に添わないということで改正が提案されました。

定款等に関する事なので、社員等の2／3（88票）以上の賛成が無ければ可決できません。採決については正確な数字を要するとし投票用紙による方法が取られました。

採決の結果、賛成 95 票・反対 27 票で原案通り **可決** されました。

第3号議案（1）「役員選任の件」

（2）「社員提案 JG1KTC 高尾義則氏を理事として選任しないことを求める件」

特に（2）について、高尾議員を擁護する？一部社員から「たくさんの票を得て当選している。在任中は多大な業績を残した」などの意見や「高尾議員を責める現執行部の体質に問題がある」というような、本質を外れた意見が執拗に繰り返されました。

また質疑の許可を得ず執行部を誹謗中傷・罵声を繰り返す社員がいて、議長から不規則発言は慎むように諭されても止めず、審議が進行出来ないと判断され「退場」が命じられました。何だかんだと叫びながら、だらだらと時間稼ぎをしてやっと退室。

このことだけでも、15回の総会史上初めての事なのに、さらに警告を無視し執拗に妨害



を続ける別の社員に対しても議長が退場を告げると、突如席から立ち上がり、通路を突進し議長団の机を飛び越えて掴みかかろうとする暴行未遂事件が起きました。

周りの人たちで取り押さえ、当事者を含め怪我などは無かったようですが、前代未聞の出来事と事の重大さを考慮し司法が介入する事態となりました。

今後のアマチュア無線界にとって、司法介入が正しかったのかどうか現時点ではわかりませんが、双方とももう少し冷静に対処して欲しかったと思うのが私の気持ちです。

社員提案の代表者から趣旨説明があり、その後高尾氏本人に発言の機会が与えられましたが、

「事実誤認で私は悪くない。現執行部の一方的攻撃であり悪いというなら証拠・根拠を示せ」とまくしたて、国会論争からJARL総会まで同じ構図。これが日本の現実かと呆れました。

質疑途中で議長団が司法の事情聴取に呼ばれ、議事進行のため急遽議長団の変更が余儀なくされ、新議長団が選任され質疑が継続されました。

投票用紙による採決の結果（１）に関しては、全国選出理事の高尾氏及び九州地方本部選出の中村氏が理事として**否認**され、他の理事・監事は**承認**されました。

必然的に（２）に関しては採決がありませんでした。



秋葉原の電気街と歩行者天国

いろいろなことが起こり、後に禍根を残す事態となった総会でしたが、17時27分に閉会されました。

本総会をもって、私のJARL社員としての職務は終了しましたが、アマチュア無線を続ける限りは今後ともJARLの活動に理解・協力をしていかねばならないと思っています。

各局にありましては楽しむべき折角の趣味ですので、今後も成り行きを見守りながら、関心をもってJARLの行く末を共に考え協力していただきたいと存じます。

余談になりますが、15回の総会のうち第9回総会については、新型コロナウイルス感染症の脅威による出席自粛要請があり、止むを得ず委任状の提出となり、続けて第10回総会でも新型コロナウイルス感染症の猛威のためまたも出席自粛要請があり、議決権行使書の提出をもって参加することになりました。

第12回総会では、自身の癌発病と摘出手術のため、不本意ながら出席が叶わず議決権行使書による参加となりました。

年に一度の東京旅。総会終了時間が遅くなっても対応できるよう、いつも一泊しており、それなりに大江戸旅行が私にとっては一種の息抜きにもなっていました。



東京駅

来年からはその楽しみが無くなり、チョッピリ寂しくなるのかも分かりませんが、大役から解放された安堵感の方が大きいでしょう。

微力ながらJARL組織に関われたことは、それなりに私のHAM人生にとって貴重な経験となったことに感謝しております。

フィールドミーティング開催の報告

JG5JXW

7月25日、例年どおり「三好会長宅 別邸 前広場」にて、フィールドミーティングを開催しました。

この日の高松市の最高気温は、なんと 38.2℃。昨年も「暑い、いや暑い」と書いた記憶がありますが、今年はさらにさらに“熱い”一日となりました。外に出ているだけで汗が流れ、火を使う BBQ にはなかなか厳しいコンディションです。それでも、いつもの仲間が集まれば、暑さに負けず楽しい時間が始まります。

今回は、いつも料理長として腕を振るってくださっている平井さんが参加できなくなったため、急遽メニューを以前の定番だった焼き肉に変更することになりました。

私は買い出しで少々出遅れてしまい、クラブ局運用のためシャックに到着したのは14時過ぎ。CQを出し始めたのは15時前になってしまいました。

ところが、この日はあいにく磁気嵐が到来しており、7MHzのコンディションがかなり悪い状態でした。ダイヤルをくるくる回してみても、いつもなら聞こえてくるはずの局がほとんど聞こえてきません。CQを出してみても応答はなく、なかなか厳しいスタートです。

そこで、21MHzに出てみたところ、こちらではポツポツと呼んでもらうことができました。コンディションに振り回されながらも、何とかクラブ局の運用らしい交信をすることができました。この日のオペレーターは、JH5LYW 三好さん、JI5SA0 丸山さん、それと私の3名です。

交信局数は次のとおり。

3.5MHz	CW	:	5局
7MHz	CW	:	5局
7MHz	SSB	:	6局
21MHz	CW	:	10局
50MHz	SSB	:	2局
総交信数		:	28局



昨年と比べると、かなり寂しい数字となりました。やはり、この日のコンディションには苦戦させられました。

なお、3.5MHzについては、みなさんが解散した後、30分ほど運用した際の交信数です。最後まで粘って、少しでも局数を増やしておきました。

さて、無線のほうは苦戦しましたが、BBQのほうはというと、こちらはいつもどおり大いに盛り上がりました。

今年は、先日入会されたばかりの JJ5NFG 大路さんも参加されました。差し入れまで持って来ていただいたうえに、率先して肉を焼いておられます。新入会員とは思えないほど、すっかり馴染んでいます。JA5UVT 詫間さん、JJ5CAE 詫間さんのお二方も、焼き方として大活躍。暑い中、焼き網の前で肉を焼き続けてくださいました。



私はというと、もっぱら配膳係です。焼く人、食べる人、配る人。それぞれが役割分担をしながら、楽しく時間が過ぎていきました。ところで、以前に比べて皆さん、ずいぶん健康的になっているようです。

以前なら、BBQ といえばビールがどんどん進んでいたような気がしますが、今年は「飲んでも 1 本だけ」といった具合。そもそも、あまり飲まない人も増えました。

これは健康のためには大変結構なことなのですが、やっぱりお酒が少ないと、盛り上がりも今ひとつ……。そして会話の内容も、いつの間にか健康について血圧の話やら、薬の話やら（笑）。

もちろん健康は大切なのですが、せっかく無線クラブの集まりなのですから、もう少し無線談義でも盛り上がりたいたいものです。「最近どんなアンテナを上げた」とか、「こんな珍しい局と交信した」とか、そんな話が飛び交う会になると、やはり我々らしいのではないのでしょうか。

今年は暑さも、無線のコンディションも、なかなか手強い一日でしたが、それでもみんなが集まって肉を焼き、食べて、話をする。こうした時間も、クラブ活動の楽しみの一つだと思います。

来年は、平井料理長も復帰されることと思います。そして 80 周年のイベントも控えていますので、今年以上に、さらに盛り上がったフィールドミーティングになることを期待したいと思います。



〔参加者〕 JA5BNY、JA5IJL、JA5TOP、JA5UVT、JE5CZI、JG5JXW、JH5LYW、JI5SAO、JJ5CAE
JJ5NFG （10 名）

四国総合通信局長からの表彰

JA5TOP 平賀正明

4 月の中旬、我が家に留守中松山市？から知らない番号の電話が入っていました。掛け直しをせずに放って置いたところ当日に再度コールがあり、2 度目であったので私が電話に出ると四国総合通信局の井ノ口と名乗り、私本人であることを確認の上で電話した理由を話してくれた。のちに分かったことですが電波監理部電波利用環境課長でした。

井ノ口課長の話では「電波適正利用推進員として長年にわたり積極的に周知啓発活動等をされて貢献されたので局長表彰をすることになりました。資格は十分です。ただプレス発表が直前にありますのでそれまでは他言無用でお願いします」と指示がありました。

私は長い間、長距離を車で走ってなかったので1泊2日の遊び心で元勤務地の松山へ行くことにしました。31日は久しぶりの友人宅、また元勤務していた場所、新たに広い場所へ引っ越して新築された事務所など見学してのんびりしました。

6月1日電波の日 ANA クラウンプラザホテル松山へ向かい、4階受付のエレベーターホール前へ行くとたくさんの人たちに迎えられて受付をしました。井ノ口課長と対面して「今日は私がアテンドさせていただきます」と自己紹介された。控室ではアテンドの人たちが受賞者の人を指定席へ案内したり、女性がお茶を入れたり、至れり尽くせりの接待でした。係から当日の段取り説明や四国総合通信局長、四国情報通信協力会長から挨拶を受けてさらに式典会場での入場や受賞リハーサル、写真会場で記念撮影後休息。11:20～式典本番2分前入場、指定席で順番を待ちますが式次第が進み表彰式、私は2番目で呼ばれる予定。1番目のどこかの漁連の方がマークや自分の立つ位置などを見失っていたが何とか終わった。次は私である。名前を呼ばれて起立、登壇の案内で壇上へ上がり県知事や経済連合会長に向かって一礼、会場のほうへ向き表彰理由のナレーションが流れる。これが終わると受取場所へ進み局長と一礼後賞状を受け取り少し下がり、壇上の来賓に向いて一礼して階段を下りて席に戻る。たったこれだけでしたが緊張しました。

表彰が進み全員が終わると、賞状を椅子の上に置いて退場して隣の祝賀会会場へ案内されました。最前列中央の貴賓席へ案内されて私は竹下通信局長の隣席でまたまた緊張でした。料理はアテンドの方が次々と運んでくれるのですが病気で主治医から定期検診で食事をコントロールするようきつく言われているため塩分やカリウムをとらないようしているので簡単には食べられません。残念でしたが好きなものも辛抱でした。パーティー会場では前任の四国電波適正利用推進員事務局 事務局長などたくさんの方々とお会い出来て大変懐かしい思いでした。時間はあっという間に過ぎて 13:00 終了、解散となりました。大勢の人に見送られて会場を後にして地下駐車場へ向かいました。この後またまた大変、私は自分の車の場所がわからなくなり、地下駐車場で車がみつからないと走り回ることになりました。結果はエレベーターの地下の階数を間違っていて駐車場係の人が見つけてくれました！ ハハハ 汗びっしょり！ 帰りは1人にやにやしながら車を運転、ブンブン走って休憩もせず帰って来ました。

なにが変わったのか昔の電波監理局と呼ばれた時代、私たちアマチュア無線家は趣味の王様と言われていたわりに反対に怖いのは電監！ 違法なことをすれば免許剥奪、取り消しなど心配する人もいたようですが今は各役所と同様に総合通信局も優しく指導してくれるようになり、免許状の更新手続きなどやり方を丁寧に優しく教えてくれます。病気で無線ができなくなってからですがチョット安心する今日この頃です。

以下は電波推進員事務局から私が帰り着くより先にメールで送られていた PDF です。

祝 令和8年度「電波の日・情報通信月間」四国総合通信局長表彰

令和8年6月1日（月曜日）クラウンプラザホテル松山で令和8年度「電波の日・情報通信月間」記念式典が開催され、香川県電波適正利用推進員協議会元会長の平賀正明様が、四国総合通信局長表彰を受けられました。

平賀様におかれましては、平成25年から13年間にわたり電波適正利用推進員として電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談や周知啓発活動を積極的に行い、電波の適正利用の推進に多大な貢献をされました。

平賀様おめでとうございます。



（写真）記念式典会場において撮影

リグの提供

JG5JXW

J15VUZ 市原さんの友達である宮地さんより、終活の一環にてアマチュア無線機一式を譲りたいとの依頼を受けました。本人の希望は無償で使っていただける方に譲りたいとお願いされています。



無線機本体

TS-940S、TS-830S（取説あり）
TS-811、TW-4000（マイクあり）
TR-1200（マイクあり）
TM-833（マイクあり）
TM-201（マイクあり）
FT-102（マイクあり）
IC-706（取説あり）
IC-38（マイクあり）

ハンディ機

FT23（バッテリーあり）
C-568（マイクあり・ANTなし）

安定化電源

DM-320MV（最大 17A）
SP-22AW（最大 22A）

パワーアンプ

HL-62V（144MHz50W）
HL-60U（430MHz50W）
HL-66V（50MHz50W）

アンテナチューナー

AT-230、FC-102

ステーションモニター

SM-220

リモート VF0

VF0-240

スタンドマイク

MC-50、AM-308

クラブシャックに置いてありますので、三好さんに連絡し実機を確認することも可能です。バラバラと見に行くのもご迷惑になると思いますので、ご希望の方はこちらのメール ja5yde@yottekoi.com までお知らせください。詳細情報をお送りします。また、複数のご希望があれば、まとめて実機確認の機会を設けたいと考えています。よろしくお願いいたします。



新入会員の紹介

J A 5 C A V

宮地 豊二（みやじ とよじ）

769-さぬき市

第2級アマチュア無線技士

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ:A4サイズ、可能ならWordで作成し電子メール、電子メールが無い場合はFaxか郵送。

送 付 先 : E-mail

Fax

郵 送 先 : 〒761-8011 高松市 坂井進史 宛

ホームページ : <https://www.jarl.com/ja5yde/>

** お願い **

J A R L 香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があった方や、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いします。

★★★★ 新入会員募集中 ★★★★★

J A R L 香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成 78 年(1948 年 10 月結成)になります。

そこで更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

*** 連絡先 坂井進史 JG5JXW

会員の皆様には令和 8 年度分会費納入をよろしくお願いします

J A R L 香川クラブ報

発行責任者	J H 5 L Y W	三 好	伸 幸
編 集 者	J A 5 T O P	平 賀	正 明
	J I 5 S A I	平 田	昌 三
	J I 5 V U Z	市 原	義 博
	J I 5 X T P	坂 内	信 洋
	J G 5 J X W	坂 井	進 史